

事務事業名	真岡鐵道利用校外学習事業			担当	教育委員会 学校教育課 総務係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-8180	
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成元 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費		3教育振興費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>○真岡線沿線の地域理解や、公共交通の利用マナーを学ばせるとともに、児童の夢を育むことを目的に実施する。                  ○市内小学校の社会科見学や、小学2年生のSL体験乗車で真岡鐵道を利用した場合に、運賃経費を交付する。                  平成28年度交付金内訳 社会科見学20,400円 SL体験等運賃463,440円 バス代1,704,240円 計2,188,080円                  ○第三セクター「真岡鐵道」の利用促進を図る。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 市内小学校から交付申請書（計画書）を提出させ、輸送経費を交付金で交付する。 社会科見学での真岡鐵道利用は、小学校18校の内、2校で実施し、見学場所は「ツインリンクもてぎ」、「茂木町並松運動公園」、「道の駅もてぎ」、「益子町北運動場」、「益子の森」等。 SL体験乗車は小学校18校全校で実施している。昨年度より、真岡東中学校で益子青年の家までの行程で、真岡鐵道を利用した。  29年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	交付金額	千円	2,080	2,155	2,129	2,188	2,200	
	イ	社会科見学で真岡鐵道を利用した学校数	校	2	2	3	2	2	
	ウ	SL体験乗車を行った学校数	校	18	18	18	18	18	
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・全児童数(社会科見学) ・小学2年生全員(SL乗車体験)	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	小学校全児童数	人	4,713	4,664	4,630	4,612	4,520	
	イ	小学校2年生の数	人	782	756	763	743	779	
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・真岡鐵道のSL乗車を通し、公共交通マナーの向上を図る。・真岡鐵道の利用促進	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	地域の公共交通を理解できる児童の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 児童に地域を理解し、公共交通マナーを身につけさせる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	地域を理解し、公共交通マナーを身につけた児童の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	2,080	2,155	2,129	2,188	2,200
	事業費計(A)			千円	2,080	2,155	2,129	2,188	2,200
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	15	15	15	15	15	
		人件費計(B)	千円	61	63	63	62	62	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	2,141	2,218	2,192	2,250	2,262

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	子供たちに夢とロマンを与えることを目的に、昭和63年に第三セクターで開業した「真岡鐵道」に対する児童のマイレール意識の高揚及び社会体験学習として、教育課程に組み込んだ。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・教育課程編成上、社会科見学を実施するのは困難な状況となってきた。 ・人口減少、高齢化の社会において、移動手段としての公共交通は、大きな課題となっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	クラス数が多い大規模校からは、児童数が多く、社会科見学の実施が難しいとの意見がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 教育課程の中で、交通機関を利用するマナーや道徳心の涵養が求められており、健全な児童の育成に結びつく市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 校外教育活動として教育課程の中に組み入れている。 第三セクター「真岡鐵道」の支援事業として実施している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 教育課程の中で、小学生を対象に集団行動のきまりや、公共マナーの向上を図っている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 小学校2年生のSL体験乗車と真岡鐵道を利用した社会科見学を実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 公共交通でのマナーの向上を図る機会が少なくなる。 郷土愛やマイルール意識が育ちににくくなる。 真岡鐵道の利用促進が図りにくくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 社会科見学・SL体験に必要な料金のみ支出である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付事務のみである。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 教育課程に位置づけられている事業であり、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							